

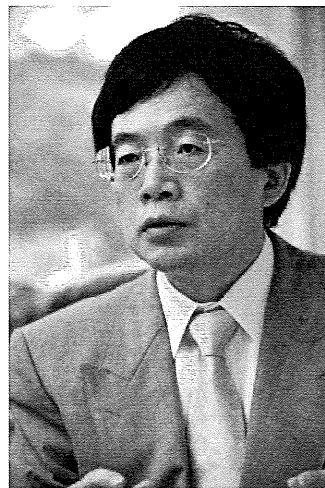
# 「農業だけの問題ではない、 TPPでどうなる暮らし」

講師 東京大学大学院教授  
鈴木宣弘氏

日時  
10月3日(木) 10:00~12:00  
場所  
あわぎんホール 5階小ホール

主催 生活協同組合 とくしま生協  
お問い合わせ とくしま生協企画部  
TEL088-698-0505

参加費無料



## TPP学習会 のご案内

原発は「安全だ、安全だ」と政府は言ってきましたが、ちっとも安全ではなかった。「TPPに乗らなかつたら日本が沈没する」とか言っていますが、本当に大丈夫なのでしょうか？

日本の厳しい食の安全基準が、外国から非関税障壁とみなされて崩れていく心配はないのでしょうか。これ以上、食糧を外国に頼って将来、困らないのでしょうか。

TPP（環太平洋パートナーシップ協定）は例外的な品目を認めずに100%の貿易自由化を目指した協定であり、商品やサービスのほか知的財産権など広い範囲のものを自由化しようというものです。

昨年の衆議院選挙で自民党は「聖域なき関税撤廃を前提にする限り、交渉参加に反対する」を公約としていました。政権を奪還した自民党安倍政権は、農産物などの一部聖域を守ることでTPP交渉参加を決定しましたが、その交渉分野や内容について私たちはどの程度知っているのでしょうか。

TPPは農業分野だけでなく、食の安全、保険・金融、医療、労働市場などさまざまな分野に影響が及ぶと言われていますが、日本にとってどういうメリットとデメリットがあるのか国民的な論議もまだまだ不十分です。

安倍政権がTPP交渉参加を決定してから、肯定的な論調がメディアでも目につきますが、懸念される内容も多数存在します。

TPPに参加した場合のデメリットも知った上で、私たちはその是非を考えたいと思います。